

ふくおかのかふくし

11月号
2011. 130号



大好きなおばあちゃんと受賞作品の前で

福岡から元気を!!

第11回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭開催

○「いつまでも輝いていたい！」

第11回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭開催

○熊本で躍進！ 元気ふくおか選手団

第24回全国健康福祉祭くまもと大会（ねんりんピック2011熊本）

○誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会づくりをめざして
平成23年福岡県社会福祉大会開催

○歳末たすけあい運動にご協力をお願いします

○高齢者サークル紹介 秋空の下でナイスショット

～小都市 ターゲットバードゴルフ～



いつまでも輝いていた！ 第11回福岡県ねりんスポーツ・文化祭開催

「第11回福岡県ねりんスポーツ・文化祭」を11月19日・20日に飯塚市のイヅツカコスモスコモンで開催しました。

4月から行われた地区大会を含め多くの参加者がスポーツや文化活動を通して、生きがいづくり・健康づくり・仲間づくりをテーマに、世代を超えた交流を深めました。

福岡から元気を！

19日に行われた総合開会式は、直方市若踊古町北区保存育成会による優雅な直方日若踊^{のあたひわかどり}が始まりました。

式典では、大会実行委員長の平山良明県社協会長が開会宣言を行い、大会会長の小川洋県知事が「『福岡から元気を』をテーマに、被災地の皆さんに元気を届けましょう」とあいさつされました。

記念講演では、野球解説者・タレントの板東英二さんに「板東英二のがむしやら人生」と題して楽しい講演をいただき、会場を笑いと元気で盛り上げていただきました。

福岡の元気が大集合

ねりんファッションショーでは、第1部で一般公募による9名のオシャレ大好きな高齢者が自慢の着こなしを披露し、登場のたびに大きな拍手が沸き起こっていました。

また司会の西田たかおりのさんとの軽妙なやりとりにも、笑いの絶えないショーとなりました。

第2部では、「あなたのオシャレにひと工夫☆アイデアファッションショー」をテーマに、着心地にこだわったオシャレな服を提案するバリアフリーファッションのデザイナ―須上喜代江さんによるショーが行われました。

ふれあい市場では、福岡県セレクトセンターや、地元企業のさまざまな店が立ち並び、両日とも大盛況でした。また、東日本復



興おうえん市場のコーナーでは、飯塚市食生活改善推進会の協力のもと東日本震災で被災した東北地方の郷土料理「芋煮」や「ずんだ餅」を販売し、収益は中央共同募金会を通じて被災地へ送りました。

このほかにも、岩手県、宮城県、福島県の障害者施設の製品販売を行い、福岡県から被災地へ元気を届けました。

感動あふれる音楽イベント

6月から練習を重ねてきた「ねりん合唱団」125名がねりんのオーケストラの演奏にのせて、



「見上げてごらん夜の星を」「大地讃頌」「ふるさと」などを歌いあげ、ねりんを重ねた深く優しい歌声が会場全体に響き渡りました。

また、民謡コンクールでは、一般応募の高齢者66名が自慢ののどを披露しました。

参加者は、「衣装を着てステージに立つと気が引き締まります。これから語り続けたいです。」と話し

ておられました。

各種イベントも大盛況

会場内では、県内の小学生が描いたおじいちゃん・おばあちゃんの絵コンクールや、シニア美術展、俳句・短歌交流大会の展示に加え、ふくすくキッズパーク、地域文化伝承コーナー、絵手紙体験、健康福祉コーナー、地域防災交流コーナー、スポーツ・レクリエーション体験と、世代を超えて楽しめる多くの体験イベントを開催しました。当日は、多くの来場者でどのコーナーも大変な賑わいでした。

ボランティアの皆さんありがとう

大会の運営にあたり、多くのボランティアにご協力いただきました。皆さんありがとうございました。

協力いただいたボランティアの所属

麻生看護医療専門学校、近畿大学九州短期大学、西日本短期大学、近畿大学産業理工学部、福岡県立大学、福岡医療秘書福祉専門学校、九州女子大学、九州大学、福岡大学、東鷹高校、福岡美容専門学校、川崎町社会福祉協議会

(敬称略、順不同)



ふくすくキッズパーク



絵手紙体験コーナー



ねんりんファッションショー

ねんりんスポーツ・文化祭 参加者インタビュー

私が輝く瞬間

私が輝く瞬間は・・・

ファッションを楽しむ瞬間です。



ねんりんファッションショー
一般公募の部 最優秀賞受賞

青井 妙子さん (80歳)

ねんりんファッションショーの参加を毎年楽しみにしています。
「自分らしさ」を心がけ、常に新しいファッションに挑戦することを忘れず、毎日一日一日を大切に過ごしています。

私が輝く瞬間は・・・

芸術に触れる瞬間です。



シニア美術展 洋画の部
福岡県文化団体連合会会長表彰 受賞

三反 保さん (79歳)

子供の頃から美術が大好きで、シニア美術展には毎回出展しています。
最近では、版画の他に写真や切り絵など、新しい作品にも挑戦しています。試行錯誤していますが、毎日が楽しいです。

私が輝く瞬間は・・・

心を込めて歌う瞬間です。



ねんりん合唱団 最高齢者賞受賞

松尾 重子さん (80歳)

学生時代から合唱をはじめ、今では私の生きがいとなっています。
ねんりん合唱団には第2回目の飯塚大会から参加しています。素晴らしい仲間と大好きな合唱ができることを本当に嬉しく思います。

私が輝く瞬間は・・・

仲間とスポーツを楽しむ瞬間です。



ウォークラリー交流大会出場

デコボコチーム (久留米市)

私たちは、久留米市のスポーツサークルで知り合った仲間です。
仲間と汗をかい一緒にスポーツを楽しんでいる瞬間は、何よりも楽しく、若々しい気持ちが蘇ります。

ご協力ありがとうございました

第11回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭では、企業からの協賛品によるチャリティー福引を実施し、収益の全額を福岡県共同募金会に寄付いたしました。
協賛いただきました企業の皆さん、本当にありがとうございました。

協賛いただいた企業

福岡ソフトバンクホークス株式会社、財団法人アクロス福岡、株式会社伊藤園
三菱鉛筆九州販売株式会社、サッポロ飲料株式会社、福岡銀行春日原支店
西日本シティ銀行春日原支店、日産プリンス福岡販売株式会社平尾店
福岡トヨタ自動車株式会社春日店、農業事業組合法人福栄組合、株式会社フクハク
ジャパン福岡・ペプシコーラ販売株式会社、佐川急便株式会社筑紫野店 (敬称略、順不同)

協力：飯塚本町商店街





マスコットキャラクター
ASO坊健太くん

熊本で躍進！元氣ふくおか選手団

**22種目に
150名の選手が参加**

厚生労働省では、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的に、昭和63年度から全国健康福祉祭（ねりんピック）を開催しています。

今年度は10月15日～18日の4日間、「第24回全国健康福祉祭くまもと大会」（ねりんピック2011熊本）が熊本県で開催され、福岡県からは、選手・本部役職員合わせて164名が派遣されました。

10月14日、福岡県庁での結団式では、小川洋福岡県知事と平山良明福岡県社会福祉協議会会長から激励の言葉が贈られました。

これを受け、ソフトボールの岡廣次選手、なぎなたの諸藤初子選手が選手団を代表し、「日頃の練習の成果を十分に発揮するとともに、東日本大震災を乗り越えて参加される仲間とともに、「がんば

るう日本」を合言葉に交流の輪を広げてくることを誓いました。」と力強く決意表明を行いました。



決意表明
岡 廣次選手（ソフトボール） 右
諸藤 初子選手（なぎなた） 左



小川洋福岡県知事から富安節子福岡県選手団団長へ県旗の授与

**地元小学生との世代間交流
ひのくに2011キッズ**

総合開会式は10月15日、全国から65選手団約9,300人の選手が集まり、熊本市の熊本県民総合運動公園陸上競技場で開催されました。総合開会式の開始前に、ひのくに2011キッズ（福岡県の応援は熊本市立託麻南小学校の児童たち）との交流の場が設けられ、応援のメッセージが入った手づくりの横断幕を贈られ、福岡県選手団は、児童たちの横断幕を掲げ元氣はつらつと入場行進を行いました。

福岡の元氣をアピール

16日からは、熊本県内各地で交流大会が行われ、福岡県選手団は、全国の参加者と交流を深めるとともに、日頃の練習の成果を十分に発揮し、各種目で熱戦を繰り広げました。将棋の個人戦で力丸俊二さんがブロック優勝、ソフト

バレーボールが第一位グループのブロック優勝など、素晴らしい成績を収め、元氣な福岡県を全国にアピールしました。



応援のメッセージが入った手づくりの横断幕（総合開会式 入場行進）

ねんりんピック2011熊本 各種目成績

種 目	参加人数	成 績
卓球	7名	優秀賞（第2次予選リーグ：第1位グループブロック2位）
テニス	6名	優秀賞（予選1位通過・第1位グループトーナメント初戦敗退）
ソフトテニス	6名	優秀賞（予選リーグ1位通過・第1位グループトーナメント初戦敗退）
ソフトボール	15名	入賞なし
ゲートボール	17名	大牟田 優秀賞（予選1位通過・決勝トーナメント3回戦敗退（ベスト16））
		福岡中部 入賞なし
		慶寿会 入賞なし（予選1位通過・決勝トーナメント2回戦敗退）
ベタンク	4名	優秀賞（予選リーグ1位通過・決勝トーナメント 初戦敗退（ベスト16））
ゴルフ	3名	ブロック優秀賞（個人戦：山崎 博人氏） 70歳以上ブロック 第9位
マラソン	5名	入賞なし
弓道	6名	入賞なし
剣道	6名	入賞なし 菊池市特別賞 宮崎 克己氏（82歳）※最高齢者賞・高齢者賞者を除く参加選手の高齢者
グラウンド・ゴルフ	6名	入賞なし
なぎなた	3名	優秀賞（演技競技の部） ベスト8
ウォークラリー	5名	入賞なし 高齢者賞 福嶋 千枝子氏（80歳）
太極拳	7名	入賞なし
ソフトバレーボール	8名	第1位グループ ブロック優勝 高齢者賞 原田 正枝氏（77歳）
サッカー	18名	ブロック第3位
ダンススポーツ	8名	入賞なし
ボウリング	4名	入賞なし
囲碁	3名	入賞なし
将棋	3名	ブロック優勝（個人戦：力丸 俊二氏）ブロック3位（個人戦：酒見 祐介氏）
健康マージャン	4名	入賞なし 高齢者賞 安達 美子氏（80歳）
シンポジウム	6名	—
合 計	150名	



熊本市立託麻南小学校の児童たち

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる 地域社会づくりをめざして

社会福祉法制定60周年記念

平成23年福岡県社会福祉大会開催

福岡県社会福祉協議会、福岡県共同募金会は、去る10月21日に春日市のクローバープラザで「平成23年福岡県社会福祉大会」を開催しました。

本大会は、昭和26年に制定された社会福祉事業法（平成12年、社会福祉法に改正）の60周年という節目の年にあたり、社会福祉を取り巻く情勢を踏まえ、改めて社会福祉関係者に求められる基本的な視点を確認するとともに、連帯して地域の課題解決に積極的に取り組んでいく契機として開催し、約1,200名の社会福祉関係者の参加をいただきました。

本大会では、読売新聞東京本社 社会保障部 次長 猪熊 律子 氏を記念講演の講師としてお招きし、「これからの社会保障と社会福祉関係者に求められる役割」と題した講演をいただきました。

記念講演

これからの社会保障と

社会福祉関係者に求められる役割

読売新聞東京本社 社会保障部 次長 猪熊 律子 氏



変わる日本の家族

人口構造の変化

現在、日本の高齢化率は23%、高齢者の人口は2050年までには総人口の40%に達すると言われていきます。また、100歳以上の高齢者が4万人を超え、日本は世界一の長寿国となりましたが、相次ぐ高齢者の所在不明問題や家族間・地域間の関

係の希薄化が浮き彫りとなった無縁社会問題など、多くの深刻な課題を抱えています。

また、近年の企業等の採用状況の変化から若い世代の失業率の増加（非正規社員の増加）、自殺者の急増（年間3万人）、児童福祉の分野では児童虐待（年間対応件数約5万5千件）、児童養護施設退所後の自立支援の強化の必要性なども課題となっています。

この他にも、子育て支援の分野において様々な問題が山積しており、社会保障の改革が強く求められています。

私は以前、映画監督の山田洋次さん取材した際に、「近年の日本人の、『自分さえよければ・・・』という考えから、今の人間関係が希薄



読売新聞東京本社 社会保障部次長 猪熊 律子 氏

1985年に読売新聞社に入社後、岩手県盛岡支局、婦人部、生活情報部などを経て、2000年3月から社会保障部記者として活躍。主に、年金、介護、少子化などの社会保障問題を担当し、2004年10月から現職。

また、社会保障問題をテーマとした講演会やシンポジウムへ多数出演しており、全国社会福祉協議会発行の「月刊福祉」の編集委員としても活躍中。

化した社会がある。社会保障は冷たくなった人間関係を、社会システムとして補うためにある。」という言葉が印象に残っています。

まさに、社会保障は誰もが生涯を通じて、安心した生活の保証が得られるものでなくてはならないと感じています。

東日本大震災を受けて

東日本大震災の被災地の取材から、「災害弱者をいかに守るか」が大きな課題であると感じました。

今後は「減災」という視点を持つことが重要です。社会福祉施設においては、行政と連携した施設の安全確保が求められると考えます。また、市町村社協・民生委員においても、災害弱者が安全に避難する方法やそれに向けた取り組みの強化をすることが重要です。

社会保障改革の方向性

日本は世界の国々と比べ、社会

保障関係の支出が低いことが窺えます。なぜ日本は高齢化率が高いにも関わらず、支出が低いのか。それは2つの理由が考えられます。①これまで日本は、高齢者の介護や子育てを家族・地域間で行っていたため、公的な支出を行わなくてもよい状況にあったこと。②かつての日本企業の採用の特徴として、「終身雇用」や「家族扶養の充実」が文化的な風土としてあり、言わば企業が社会保障の肩代わりをしていたことや、失業も少なく、失業保険の給付金の支出も少なかったことが挙げられます。

現在では、先ほど述べたように、社会環境が大きく変化し、借金で社会保障を支えている状況と言え、制度そのものを大きく見直すことが急務となっています。

今後の社会保障改革の方向として、負担と給付のバランスのとれた制度が必要と考えられます。

例として、現在の社会保障費の内訳は、高齢者支援が約70%であるのに対し、子育て支援の分野において

は4%ほどです。若い世代への支援や子育ての支援など、全世代型への転換が必要ではないかと思っています。また、高齢者の方々が、社会の一員として活躍できる地域社会をつくることで、無縁社会からの脱却につながり、社会全体が明るい社会になると考えられます。

このように、社会保障改革の方向を決め、実際に社会の中で、大きな役割を担うのが社会福祉関係者の皆さんだと思います。皆さんの活躍を期待いたします。



大会宣言・実践申し合わせ事項を採択

本大会では、我が国の社会保障分野における制度改正や見直しが進められている中、県内社会福祉関係者の総意をもって、「大会宣言」・「実践申し合わせ事項」を採択しました。

大会宣言

厳しい社会・経済情勢が続く中、地域では住民の生活課題が多様化し、従来の福祉制度だけでは対応することが困難な状況となっています。

さらに、東日本大震災という未曾有の大災害に直面した今、改めて、官民一体となった地域における新たな支えあいの仕組みの構築が急務の課題となっています。

一方で、国民の生活基盤を支える社会保障・社会福祉の制度・施策は、その財源問題や地方分権・地域主権の流れと相俟って大きく見直されようとしており、私たち社会福祉関係者にとっても、その対応が重要な局面を迎えています。

このようなときこそ、社会福祉関係者はこれまでの経験と成果を踏まえ、その時々々の課題に的確に対応していくことで、その存在意義を示すとともに、誰もが心豊かに安心して暮らせる地域コミュニティづくりの中核としての役割を果たすことが肝要です。

本大会は、昭和26年に制定された社会福祉事業法（平成12年、社会福祉法に改正）の60周年という節目の年にあたり、社会福祉を取り巻く情勢を踏まえ、改めて社会福祉関係者に求められる基本的な視点を確認するとともに、連帯して地域の課題解決に積極的に関わり組んでいく契機とします。

私たち社会福祉関係者は、国及び県・市町村と一層連携を深め、それぞれの立場で専門性を発揮し、人と人が支え合い、すべての人が安心して安全に暮らすことができる福岡県づくりに努めることをここに誓い、宣言します。

実践申し合わせ事項

1 官民一体となった地域福祉の推進

社協法定化60周年を迎え、先達の地域福祉活動への情熱や取り組みを継承し、誰もが安心してその人らしく暮らせるよう、地方分権・地域主権の流れの中で、官民一体となった地域福祉の推進に努めよう。

2 大規模災害への対応の充実

東日本大震災における災害復旧や地域復興支援活動の経験を活かし、日常から関係機関・団体と連携・協働した地域福祉活動としての災害対策の充実に努めよう。

併せて、施設利用者が安心・安全に生活を営めるよう、社会福祉法人・施設における防災対策の強化に努めよう。

3 共同募金運動の取り組み強化

地域福祉活動をはじめとする民間社会福祉の一層の充実のため、共同募金運動の推進に努めよう。

4 心豊かな高齢社会の実現と高齢者の生きがい・健康・仲間づくりの推進

県民一人一人が幸福を感じる心豊かな高齢社会の実現に向けた取り組みを推進するとともに、健康づくりや介護予防、仲間づくりを目的としたふれあい、いきいきサロン活動の推進に努めよう。

5 福祉サービスの充実と利用者支援に向けた取り組みの強化

福祉サービスの質の向上を図るため、福祉人材の確保、養成、定着促進に向けた取り組みに努めるとともに、適切なサービス利用を支援するため、日常生活自立支援事業や福祉サービス苦情解決事業の推進に努めよう。

6 介護保険制度の充実と見直しへの的確な対応

介護を必要としている県民が地域でいつでも安心してサービスを利用できるよう、制度の一層の充実を進め、介護保険事業の効果的な運営と介護職員の処遇改善に向けた取り組みの強化に努めよう。

7 障害者福祉制度の充実と見直しへの的確な対応

障害者が安心して生活できる社会づくりのため、障害者福祉制度の見直しに積極的に参画するとともに、利用者本位の良質で適切なサービス提供に努めよう。

8 子ども・子育て支援や児童虐待への対応の充実

子どもの最善の利益のために社会全体で子どもを育む社会的養護や保育制度の充実、子育てサロン活動の普及・啓発など、子どもを安心して生み育てられる環境の整備に努めよう。

また、児童虐待の防止と早期発見・早期対応を可能とする関係者の連携強化とその取り組みに努めよう。

特別アピールを採択

本大会では、従来の「大会宣言」「実践申し合わせ事項」に加え、次の「特別アピール」が提案・採択され、国民の期待に応え得る社会保障制度・社会福祉制度の実現に向けて取り組みを進めることが確認されました。

また、採択された「特別アピール」は、厚生労働大臣、福岡県知事、県内市町村長に本会から要望いたしました。

特別アピール

本年3月11日に発生した東日本大震災は甚大な被害をもたらすとともに、私たち社会福祉関係者にとって、大規模災害に備えた取り組みを見直す契機となった。

また、相次ぐ高齢者の孤立死や後を絶たない児童虐待など、家族や地域住民の関係の希薄化を一因とするさまざまな社会問題が山積している。

こうした状況に対応するためには、地域の複雑・多様化する課題を的確に捉え、官民一体となった見守り機能を強化し、地域福祉を推進する支え合いの仕組みの再構築に積極的に取り組むことが重要である。

一方で、経済不況が長期化する中、福祉サービスの質を支えるための福祉・介護職の人材不足は依然として深刻な状況にあり、生命（いのち）を守るにふさわしい労働条件の確保と専門

性を高める研修事業の更なる充実が喫緊の課題である。

このような課題の解決に取り組み、国民が求める社会保障・社会福祉制度を確立し、将来にわたり運営していくためには、持続可能な制度の実現と安定財源の確保が不可欠であり、早急にその仕組みづくりを行うべきである。

国及び地方自治体は、地域の自主性・自立性を高めるための改革を推進するいわゆる「一括法」の施行やこれに係る条例制定、介護保険制度改正、障害者総合福祉法の制定、子ども・子育て新システムの構築、セーフティネット施策の推進等にあたり、社会福祉関係者の意見を十分に取り入れるとともに、国と地方における権限・財源・責任の明確化を基本とした仕組みづくりを進めていただくよう、県内社会福祉関係者の総意をもって強く要望する。

本大会では、多年にわたって社会福祉の推進に貢献された方々に対して表彰を行いました。おめでとうございます。

平成23年福岡県社会福祉大会被表彰者

表彰区分		表彰	感謝
県知事表彰		126名	258名
県社会福祉協議会長表彰		355名	5名 24団体
県共同募金 会長表彰	会長表彰	20名 7団体	35名 21団体
	優良地区	23支会	
	校区分会	191分会	



誰もが安心して暮らせる社会のために

歳末たすけあい運動にご協力をお願いします

困っている人を笑顔にしたい

久留米市修繕ボランティアグループ

NPO法人たくみの会

福岡県共同募金会では、12月1日から1カ月間、赤い羽根共同募金運動の一環として、**歳末たすけあい運動**を実施します。

この運動は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、県民の方々の参加や理解を得て、様々な福祉活動を重点的に展開するものです。

寄せられた寄付金は、地域の『つながり』を支えるために、高齢者の元気づくりのためのふれあい・いきいきサロン活動、高齢者世帯等に対する見守り・ひと声訪問活動、育児相談・親子のふれあいの場である子育てサロン活動、学童生徒が高齢者に年賀状を送る活動、クリスマス会などを通じた障害者共同作業所と地域の方々とのふれあい交流事業、防災、防犯事

業など、身近な地域の福祉活動に活用されます。皆さまのあたたかいご協力をお願いします。

平成23年度目標額 128,314,151円

(内訳)

- ・地域福祉・在宅福祉サービス事業 84,030,013円
- ・見舞金贈呈事業（地域） 24,284,138円
- ・見舞金贈呈事業（県域） 20,000,000円

※県域の見舞金事業では、県内の児童養護施設・母子生活支援施設で中学校・高等学校を卒業する子どもたちの進学・就職準備のための支援金等の贈呈を行っています。

歳末たすけあい運動にお寄せいただいた浄財は、地域の身近な「たすけあい」「ささえあい」の活動に活用させていただきます。

例えば、久留米市の特定非営利活動法人たくみの会は、高齢者や障害者の方々の家屋の修繕を行っています。

たくみの会は、平成9年に、理事長を務めている**樺 昭人さん**が、「地域に住む高齢者のために、何かできることはないか」と立ち上がり、平成10年4月から任意のボランティア団体として活動を開始しました。

現在、地元民間企業を退職された方や自衛隊、教職員として活躍されていた方、主婦の方など約40名の会員が活動しており、毎月研修会を開



「たくみの会」代表者
樺 昭人さん

いて家屋を修繕するための技術を学んでいます。

樺理事長は「活動をはじめた頃は作業の要領や注意点を記録したノートを作っていました。何より心強いのは、元大工さんが会員にいらっしやることで、その作業を見て学ぶことが多く、技術を習得できるので助かっています。」と語ってくださいました。





待っていてくれる人のために

たくみの会は、民生委員や久留米市社協を通じて依頼を受け、その後、材料準備に向けた作業や計測など、下見を入念に行い、依頼された方の同意を得て工事に入ります。作業は、ふすま班、外部作業班に分かれて行っています。ふすま班は、依頼を受けた方からふすまや障子を回収し、センターで修繕作業を行い、翌日には利用者のもとに配送します。また、外部作業班は、直接依頼者宅を訪問し住宅改修をしています。

利用者の多くが、一人暮らしの高齢者の方で、ふすまや障子の修繕を何年もしていません。この日、民生委員の紹介で、ふすまの修繕を依頼した一人暮らしの男性は、「何十年もふすまの修繕はしていませんでした。自分の家をきれいにしなくても、自分ひとりではどうにも出来ない」と諦めていましたが、たくみの会の皆さんののおかげで、家が明るくなり、気分も晴れました。」と笑顔で語っていました。

作業にあたる会員は「ふすま貼りや障子の修繕は、1日30枚を超える

日もあり、大変な作業ですが、待っている人のことを思い、ひとつひとつ心をこめて行います。気持ち良く新年を迎えてほしいですね。」と笑顔で語っていました。



NPO法人「たくみの会」
〒830-0027

久留米市長門石1丁目1-34
TEL (0942) 34-3035



高齢者サークル紹介（ターゲットバードゴルフ）

秋空の下でナイスショット

小郡TBGクラブ

ターゲットバードゴルフは、ビーチパラソルを逆さに立てたようなネットホールにボールアウトして、9ホールまたは18ホールを回るゴルフスポーツです。ゴルフボールにバドミントンの羽根がついた形状のボールを使用します。初心者でも、ゴルフの楽しさを味わえる手軽なスポーツとして、今話題のスポーツの一つです。

今回は、小郡市の「小郡ターゲットバードゴルフクラブ」を紹介します。お話を伺ったのは、事務局の権藤英幸さんです。「小郡ターゲットバードゴルフクラブ」は、平成16年に発足し、今年で7年目を迎えます。現在24名（男性22名・女性2名）で活動しており、会長の日吉進さん、副会長の坂田敏哲さんと共に毎週木曜日と日曜日に、小郡市七夕広場で活動しています。秋は、特に大会の多い季節ということで、11月にある九州ブロック大会・クロスロードスポーツ大会・九州北部大会に向けて練習を重ねています。

楽しく愉快に

まず、最初にくじを引き、その日のペアを決めます。スコア表もみんなが見やすく、分かりやすいように独自のものを使っています。

練習が、始まると最初はみなさん冷静ですが、徐々に熱くなり始め、思ってもいない方向にボールが飛んで行っ



「しもたあ〜」

た時には、「あゝ、しもたあ。」と悔しそうな声。上手くボールを飛ばせた時には、「よし、よし。そこまで行けば大丈夫。」と安堵の声がグラウンドに響きます。それでも、みなさん仲良しで、笑い声も聞こえてきます。

毎朝4キロのウォーキングとストレッチ

チを欠かさず行うという、永利智昭さん（79歳）は、「ターゲットバードゴ



最年長の永利さん

ルフは楽しい。仲間も増えました。健康でいられるからこそ、何でもできます。ありがたいことです。」と笑顔で話してくれました。

ターゲットバードゴルフは、思っていた以上にグラウンド内をよく歩くスポーツで、ゴルフよりも親しみやすい気がしました。事務局の権藤さんは、「ゴルフの経験がない方でも、みんな

から、始めてみ

ませんか。初心者の方でも、簡単に始められると思いますよ。」と話してくれま

独自のスコア表



ナイスショット



記念写真をパチリッ

高齢者サークルに関する問合せ先
（サークル取材も承ります）

地域福祉部 生きがいづくり課

TEL (092) 584-1401

Q 今後寝たきりが予想される認知症の祖母 寝たきり介護のポイントを教えてください。

87歳の認知症の母（要介護5）の在宅介護をしています。母は運動機能の低下から、立位が保てず、移動は車椅子を使用しています。先日、専門医から、今後は「寝たきり」になる状態も考えられると言われました。家族は私を含め4人です。家族や本人の気持ちも考え、このまま自宅で母の介護をしていくことに決めましたが、寝たきりになったことによる認知症の進行も心配です。

そこで、今すぐ寝たきりになるわけではありませんが、寝たきりの介護のポイントなどを教えて頂けたら有り難いです。どうぞ宜しくお願いします。

A 「会話やコミュニケーション」を大切にし、ご本人の体調に気をつけましょう。

現時点で、座位が保てるのであれば、食事時などに、車いすで利用したり、また、定期的に散歩をするなど、適切な運動や気分転換をはかることが認知症の進行を遅らせることにつながります。

また、家族との会話やコミュニケーションがとれるように、できるだけ家族の目が届く部屋で過ごされるのも良いと思います。

寝たきりの介護を続けていくうえで、今後は寝返りができなくなる事も予想されます。寝返りができなくなると介護の負荷が増えます。それは、寝返りをせず、長時間同じ姿勢でいると身体の一部に体重がかかって神経や血管が圧迫され、「床ずれ」や「血行不良」の原因となり、それを防ぐために定期的に体位交換が必要となるからです。床ずれは、早期発見することで進行を予防することができます。おむつ交換や、入浴の際などに皮膚の観察を十分に行ってください。

また、血行不良の予防、新陳代謝を促す手足のマッサージはとても効果的です。スキンシップによるコミュニケーションもとれ、床ずれの予防や心身のリラックスにつながります。何より「寝たきりにさせない」ことが大切です。介護をする人の負担を軽減することも大事です。そのためには、家族間の連携も必要になります。夜間巡回型の介護サービスの活用やショートステイの定期的な利用など介護保険サービスを利用して、介護者自身の体を休める工夫を心がけてください。

かかりつけ医の往診や訪問看護で本人の体調管理や医学的支援を得ることも大切です。

認知症電話相談（高齢者総合相談事業）についてのご案内

認知症予防に関する質問、認知症の症状、介護の仕方等に関する相談、家族介護における心構えや具体的な接し方、介護疲れや悩みの相談などお気軽にご相談ください。

○問 合 せ 先 福岡県社会福祉協議会 相談課 TEL 092-584-3317

○担当相談員 介護経験者（認知症の人と家族の会福岡県支部）

相 談 日 火曜日、金曜日 相談時間 10:00～16:00

○担当相談員 保 健 師（福岡県在宅保健師若草会）

相 談 日 木曜日、土曜日 相談時間 10:00～16:00

ソウェルクラブ新規会員募集中！

福利厚生センター（ソウェルクラブ）とは

社会福祉法に基づき、社会福祉事業に従事する職員に健康・生活・余暇・啓発など多様な福利厚生サービスを提供する全国で唯一の厚生労働大臣から指定された法人です。

掛金は職員1人あたり毎年度1万円です。

【サービスの一例】

生活習慣病予防検診費用助成 結婚・出産・入学お祝い品贈呈 資格取得記念品贈呈
永年勤続記念品（5年ごと）贈呈 各種講習会 指定保養所・ホテル等割引
会員情報誌ソウェルクラブニュース 等

平成23年度ソウェルクラブ福岡 会員交流事業

福岡ソフトバンクホークス公式戦	ヤフードーム	4月～10月
博多座公演	博多座	年間
爆笑スーパーライブ綾小路きみまろ	福岡サンパレス	11月
エステ＆ランチ	ヒルトン福岡シーホーク リーガロイヤルホテル小倉	10月～1月
クーザ福岡公演	福岡ビッグトップ	2月・3月
マリエラ ランチクルーズ	博多埠頭	2月（予定）
映画鑑賞券	ユナイテッド・シネマ T・ジョイ博多他	

ソウェルクラブ福岡では、上記イベント等の観劇・コンサート・野球観戦チケットなどを割安な値段でご案内しております。

入会できるのは

- 社会福祉事業に携わる常勤の役職員。
- 非常勤職員、嘱託職員、パートタイマーなどの職員及び法人の非常勤役員や、同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業に従事する職員。

加入のお申し込み・お問合せ先

ソウェルクラブ福岡事務局

福岡県社会福祉協議会 福祉人材・情報部 人材・情報課
TEL 092-584-3330

お知らせ掲示板

平成24年2月までの
行事予定等を紹介します

福祉の職場合同就職面談会
(福祉の就職総合フェア2012)
のご案内

福岡県社会福祉協議会では、福祉の職場合同就職面談会を開催します。県内約130法人の求職担当者が面接・採用を行う面談コーナーや、福祉の資格取得コーナー、福祉人材センター・ハローワーク等の求職登

録コーナーなどが設置されます。また、福祉の仕事や事業所へのアプローチ方法について学べる求職者セミナーが開催されます。皆さんの就職活動にぜひご活用ください。

日時

平成24年2月3日(金)
10時30分～15時
(受付10時～14時30分)

会場

クローバープラザ 大ホール他
福岡県春日市原町3丁目1-7

参加費

無料

問合せ先

福岡県福祉人材センター

福岡県社会福祉協議会

福祉人材・情報部 人材・情報課

福岡県春日市原町3丁目1-7

クローバープラザ東棟2階

TEL 092(584) 3310

開所・受付時間

9時～17時

休業日

第1、2、3、5月曜日

(祝日の場合は翌日)

12月29日～31日

1月1日～3日

2012年版社会福祉手帳 ただいま申込受付中



金額(税込)
1冊 800円
※送料別

福祉に関する基本情報や役立つ情報を多数掲載

福祉関係の法律(要点)、人口・世帯数・高齢者人口、ふくしの保険、年齢早見表に加え、市町村地図も掲載。

福岡県内の福祉資源名簿が充実!

福祉関係行政、社会福祉協議会、社会福祉施設、各種相談窓口の一覧に加え、さらに、地域包括支援センターも掲載。

見やすく、携帯に便利なポケットサイズ!

スケジュール欄は、見開き1週間。
(2011年12月～2013年3月分)
縦14cm、横8.5cm、厚さ1cmと持ち運びに便利。

【申込み・問い合わせ先】

福岡県社会福祉協議会 総務部 総務課
TEL (092) 584-3377
FAX (092) 584-3369

全国170万人加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

活動場所と自宅
との往復途上の
事故も補償

ボランティア活動
のための
学習会・会議など
での事故も補償

ボランティア自身の
食中毒・熱中症・
特定感染症もOK

天災タイプでは
地震・噴火・津波による
ケガもOK



年間
保険料

Aプラン …280円

Bプラン …420円

天災タイプもあります

*各プランの補償金額、補償内容
などの詳細は、専用のパンフレット
をご用意しておりますので、取扱
代理店にお問合せください。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

● 行事参加者(主催者(個人)を含みます。)全員のケガを補償(往復途上も含みます。) ● 行事主催者の損害賠償責任も補償

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 地域福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業 など



送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を特定したプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したプラン

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル 17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社



この広報紙は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。